

GREEN
GREEN

令和6年度 京丹波町町政懇談会

幸せのまちづくり 芽吹くとき



目 次

1 町長あいさつ..... 3

「幸せのまちづくり 芽吹くとき」
令和6年度京丹波町町政懇談会の開催へ向けて

2 幸せのまちづくり 芽吹く予算..... 4

令和6年度京丹波町当初予算概要

① 健やかで幸せな食の町..... 6

② 教育と子育ての町..... 8

③ 人のふれあいを感じる町..... 10

行財政基盤の構築..... 12

3 京丹波町プロモーション戦略について..... 14

GREEN
GREEN
KYOTAMBA

「幸せのまちづくり 芽吹くとき」 令和6年度京丹波町町政懇談会の 開催へ向けて

京丹波町長 畠中 源一



町民の皆さま、日ごろは、町政の運営並びに推進につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年度も、京丹波町のまちづくりについて、町民の皆さまと対話をさせていただくため、瑞穂地区、和知地区、丹波地区の12会場において町政懇談会を開催いたします。町民の皆さまに直接お会いし、お話をうかがえるかけがえのない機会であり、楽しみにしております。

私は、町長に就任して3年目となる今年度も、「みんなで、元気、希望、笑顔のあふれる京丹波町」の実現に向け、全力で取組を進めております。今年度の町政懇談会では、「幸せのまちづくり 芽吹くとき」と題して、人生100年時代、町民の皆さまの健やかで幸せな暮らしを実現するために、映像を交えながら、進めている施策や町の状況などを丁寧にお伝えし、対話の中で“ともに考えたい”と思っております。

また、今年度は、地域の団体やグループ、サークル活動をされている皆さんの元に、直接出向き、お話を伺える機会として「ふれあい懇談会」も公募させていただいているところです。

一方、京丹波町では、人口減少、少子高齢化が著しく、町の持続可能性について不安の声が聞かれます。このため、新たにプロモーション戦略を策定し、「まち」の枠を超えた「想いでつながるコミュニティ」を育むことで、持続可能な地域社会の構築を目指しております。合言葉は「グリーングリーン」です。これにより、京丹波町を中心とした「元気」を創り出し、発信していきたいと考えております。元気のある町は、全国から注目を集め、自然と町の魅力が伝わり、人や企業を呼び込むことにつながると考えております。元気を出せば笑顔になり、笑顔になれば、前向きになり、希望が湧き、まちづくりの好循環が生じます。

町政懇談会では、町民の皆さまとの対話の中で、京丹波町の魅力や強み等の「町の価値」も見つけていきたいと考えておりますので、皆さまのご来場を、心よりお待ちしております。

令和6年度京丹波町当初予算概要

～ 幸せのまちづくり 芽吹く予算 ～

京丹波町では、町民の皆さまがいつもほがらかで、明るくぬくもりのある、まちづくりを目指しています。
令和6年度、京丹波町は、一般会計112億3,300万円、特別会計95億175万3千円の予算を計上し、幸せのまちづくりが芽吹くよう、投資を行います。

基本理念

みんなで元気・希望・笑顔のあふれる京丹波町に

3つの柱

1 健やかで幸せな食の町

2 教育と子育ての町

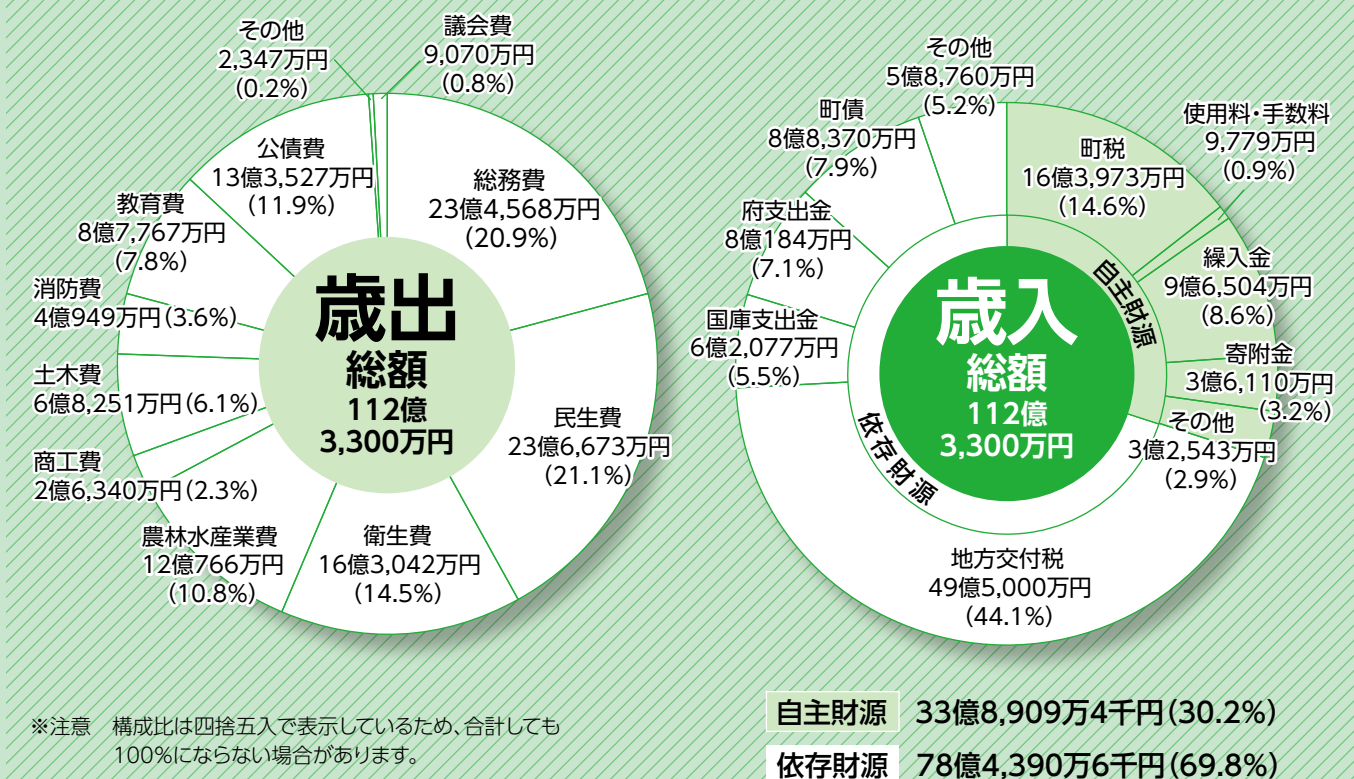
3 人のふれあいを感じる町

行財政基盤の構築

一般会計歳入歳出予算額

112億3,300万円

〈前年度比 +1億8,900万円 +1.7%〉



特別会計（公営企業会計）歳入歳出予算額

95億175万3千円

〈前年度比 +9億562万9千円 +10.5%〉

令和6年度京丹波町当初予算概要 ～ 幸せのまちづくり 芽吹く予算 ～

1 健やかで幸せな食の町

～人生100年時代 生涯を通じて「こころ」と「からだ」を健幸（けんこう）に～

町民の皆さまが生きがいと誇りを持ち、生涯を通じて健やかで幸せに暮らすことができる「健幸」のまちづくりを推進します。

「食」は、本町の最大の魅力であり強みです。その資源を最大限にまちづくりに生かすため、「フードバレー構想」を取りまとめるとともに、「フードバレー京丹波推進協議会」を設置しました。農業・観光・産業が連携し、「食のまち京丹波」を推進します。



山田さん

だれでも知っている有名な丹波栗に魅力を感じて、都市部から京丹波町へ来ました。京丹波町で栗農園を持ち、自分で作った栗で加工、販売を行い、京丹波町で栗を作りたいという仲間を増やしたいです。

山内さん

京丹波くりを自信をもって、栽培しています。おいしいと言ってくれることが何よりもうれしいです。京丹波くり、京丹波町が有名になることを夢見ています。



地域おこし協力隊

やま だ ゆ き
山田 裕貴さん

丹波くりマイスター

やま うち よし つぐ
山内 善継さん



京丹波町病院

さい とう じゅんいち
齊藤 隼一医師

齊藤医師

4月から京丹波町病院で働かせていただいています。医療だけが全てではなく、病気が完治できなくても本人がやりたいことができ、本人らしい生き方（ウェルビーイング）ができるように支えることが健やかで幸せな暮らしにつながると信じています。皆さんが地域で自分らしく過ごせるように支えていきたいです。

健やかで幸せな食の町 主要事業

- 丹波くり振興事業 2,980万6千円【拡充】
「丹波くり」の産地としての再生を目指し、優れた栽培技術継承に取り組み、栽培経費の補助を充実させ、生産量の増加およびブランド価値の向上を図ります。
- 京丹波栗リファイン事業 1,019万7千円【拡充】
「丹波くり」のブランド化推進、付加価値の向上を目指し、生産者、加工者、販売者の所得の引き上げを図ります。ふるさと納税制度を活用したガバメントクラウドファンディングによる事業を実施し、関係人口の創出、持続可能な仕組みを構築します。
- 食の京丹波推進事業 746万7千円【新規】
本町の最大の魅力である「食」を、町に人を呼び込む「観光コンテンツ」として位置づけ、食の祭典「京丹波マルシェ」の開催など、食の魅力を発信します。
- フードバレー推進事業 241万8千円【拡充】
農業や食品製造・加工など、京丹波町の基幹産業である農と食分野の産業活性化を推進します。フードバレー農場を開設します。

- ウェルネス京丹波事業 ポイント事業 98万5千円【拡充】
健幸ウォーキング推進事業 179万6千円【拡充】
- 「私たちの町の私たちの病院」である京丹波町病院と各診療所の充実【拡充】
 - ・医療情報システム、医用画像情報システムの更新（京丹波町病院） 1億2,705万円
 - ・解析付心電計の更新（和知診療所） 313万5千円
 - ・可搬性手術用顕微鏡の購入（和知歯科診療所） 572万円
- 母子保健事業 763万3千円【拡充】
全ての妊婦に対し、所得に関わらず初回産科受診料の費用助成や産後ケア事業の利用者負担軽減を実施します。
- 福祉人材確保対策事業 162万円【拡充】
介護福祉士試験の受験料、介護職員実務者研修の受講料など、対象となる経費の一部を助成します。

令和6年度京丹波町当初予算概要 ～ 幸せのまちづくり 芽吹く予算 ～

2 教育と子育ての町

～ひとづくりはまちづくり、まちづくりはひとづくり～

子どもたちが健やかに成長できるよう、「京丹波町の良さを生かした、京丹波町ならではの教育の推進」に取り組みます。



松本教育長

ひとづくりはまちづくり、まちづくりはひとづくり。

変化の激しい社会の中で、子どもたちに、京丹波町に根差した探求的な学びを提供するために、「未来を考える京丹波GREEN SCHOOL」を行います。知識として学ぶだけでなく、自ら考える力、想像／創造力を養うことが大切です。京丹波町の良さ体験しながら、地域に支えられて、まちや社会の担い手へと育ててくれることを願っています。



まつもと かずひさ
松本 和久 教育長



文化財調査活用アドバイザー
やました まさみ
山下 正巳さん

山下さん

豊かな歴史や文化財が、京丹波町にはたくさんありますが、見える化できていないという課題があります。

山城の一番の魅力は、身近にあり、小さいころから親しんできた山が戦国時代の舞台であります。京丹波町では、須知氏、山内氏、片山氏などが明智光秀と接点を持ちながら丹波攻めに関わっていました。天下統一と地域がつながっているのです。地域学芸員を設置して、さらに、地域の魅力を発信していきたいです。

教育と子育ての町 主要事業

- こども家庭センター運営事業・人件費 468万6千円【新規】
母子保健と児童福祉を一体的に取り組む機関として、瑞穂保健福祉センター内に「こども家庭センター」を設置しました。
- 児童手当支給事業 1億3,822万5千円【拡充】
家庭などにおける生活の安定と、次代の社会を担う児童の健やかな成長を支援するため、児童手当を支給します。
- すこやか子育て医療費助成事業 2,158万6千円【拡充】
高校生等医療費助成事業 249万9千円【拡充】
0歳から18歳までの子どもの医療費を助成します。
令和5年9月診療分からは、医療負担の無償化を実施します。
- 放課後児童健全育成事業 1,893万4千円【拡充】
施設の耐震化および空調設備改修を実施します。
- 学校適応支援推進事業 300万3千円【拡充】
ユニバーサルデザインの視点（誰一人取り残さない）を踏まえた、不登校児童生徒に対する学習支援および適応指導相談を実施します。

- 小学校一般管理事業 7,804万2千円【拡充】
中学校一般管理事業 5,524万4千円【拡充】
熱中症対策として、小学校と中学校の体育館に冷風機器を導入します。
- 京丹波町どこでも図書館管理運営事業 1,433万7千円【拡充】
きめ細かな図書サービスの提供と読書環境の充実を図ります。
- 京丹波町民大学運営事業 113万9千円【拡充】
町の良さを再認識、町に対する誇りを醸成するため、京丹波町の「人」「物」「事」「歴史」を題材にした講演、講座を開催します。
- 「地域の宝」（人材・文化財等）調査活用推進事業 261万8千円【拡充】
山城調査の継続と新たに作成した山城ガイドブック（山城調査報告書）に基づく山城現地ツアーや公開講座を実施します。
- 学校給食事業 9,943万3千円【拡充】
地元食材の活用、地元食材に特化したメニュー開発（味夢くんランチの実施）や、食を通じた地域、高校、地元企業との交流・連携によるメニュー開発、食材の開発を行います。

令和6年度京丹波町当初予算概要 ～ 幸せのまちづくり 芽吹く予算 ～

3 人のふれあいを感じる町 ～まちに住む人、関わる人が共鳴し合い、安全安心なまちへ～

京丹波町の特徴や魅力、資源を広く総合的にPRすることとして、タウンプロモーションキーワード「GREEN GREEN」を打ち出しました。まちに住む人、関わる人が共鳴し合いながら、いつまでも活力のあるまちを目指します。

災害から身を守り、安全で安心な暮らしを確保するため、災害に強いまちづくりを進めます。



デマンドタクシー運転手

やまぐち ひろし
山口 弘さん

山口さん

予約型乗合タクシー（デマンドタクシー）の運転手をしています。家の玄関先までお迎えに行けるので、利用される方から、喜びの声をいただいています。

生活に溶け込んだ外出支援となるように心がけています。



京丹波町消防団

おおた やすゆき
団長 太田 康之さん

太田さん

住民の皆さんの生命、財産を守るため、歴史ある京丹波町消防団組織の充実強化を図り、団員が一致団結して取り組んでまいります。

災害現場において、的確で、迅速な判断ができ、安全第一で活動できるように、訓練をして、団員の指導をしていきたいです。

人のふれあいを感じる町 主要事業

- プロモーション戦略推進事業 2,208万9千円【継続】
令和5年秋に発表したタウンプロモーション方針に基づくアクションプランの策定を行います。
官民連携プロモーションチーム「Kyotamba Innovation Lab」を運営します。
- 京丹波ファンクラブ事業 334万8千円【拡充】
京丹波町のファンを「見える化」し、関係人口と町が「交動」する仕組みを構築します。
- from京丹波推進事業 621万1千円【新規】
京丹波町から生まれた「ヒト」「モノ」「コト」をブランド化し発信します。
- 観光振興事業 1,367万4千円【拡充】
観光客数の増加、京丹波町の知名度アップを目指し、京丹波町における戦略的な観光振興施策を実施します。
- 想いでつながるコミュニティ推進事業 173万6千円【新規】
「リトリートツーリズム」の実施：セカンドキャリア（人生における第2の職業など）について考える方などが、自然豊かな京丹波町で心身を癒し（リトリート）、異なるライフスタイルを持つ方々と触れることで、自らの今後の生き方と向き合う時間を作るツアーを企画します。
- 協働のまちづくり事業 226万7千円【新規】
和知駅前前の活性化に向けた調査や地域活性化推進会議（仮称）の設置と会議の運営など、駅前から広げる地域の活性化を検討します。

- ダム周辺整備事業 254万円【新規】
畑川ダムおよびその周辺を新たな交流拠点として位置づけ、水辺環境を活かした整備に向けた検討を実施します。
- 持続可能で豊かな地域創造事業 6,807万7千円【新規】
京丹波町地域SDGs活動プラットフォーム等を通じて地域活動を活性化し、持続可能な地域づくりにつながる仕組みを構築します。
- グリーンランドみずほ管理運営事業 4,966万3千円
道の駅「瑞穂の里・さらびき」のリニューアルに向けた実施設計などを行います。
- 特産館「和」管理運営事業 6,566万2千円
道の駅「和」の空調設備の改修工事などを行います。
- 防犯事業 440万5千円【拡充】
京都府南丹警察署との連携した取組として、防犯モデル地区を選定します。
- 消防団活動運営事業 8,174万6千円【拡充】
消防団の充実強化に向けた取組を実施し、団員の活動意欲と士気の向上を図ります。
- 交通対策一般事業 5,136万円
新たな運行事業者による安定した運行体制を支援します。
- デマンド交通推進事業 938万3千円【新規】
予約型乗合タクシー（デマンドタクシー）導入に向けた実証実験を実施します。

令和6年度京丹波町当初予算概要 ～ 幸せのまちづくり 芽吹く予算 ～

行財政基盤の構築

町民の皆さんが、みんなで、元気、希望、笑顔のあふれるまちづくりを進めるためには、健全な、行財政基盤の構築が大切です。

京丹波町では、DX推進計画を策定し、持続可能なまちづくりを進めています。また、ふるさと納税を進めており、皆さんの想いのこもった寄付を、京丹波町の活性化へ向けた投資に、活用させていただきます。

京丹波町DX推進計画

人口減少や少子高齢化の急速な進展により行政サービスの担い手不足が懸念されるなか、持続可能な社会を形成していくために、今後ますますデジタル技術の活用が必要となっています。国は「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」を打ち出し、その実現に向けて大きく動いています。デジタル社会の形成にあたって、デジタル技術やデータの活用により行政組織における業務をこれまでの姿から変革するために、京丹波町DX推進計画を策定しました。

基本方針 1 住民の利便性の向上

- ・住民の利便性向上に資する手続や、各種行政手続について、「地方公共団体におけるオンライン利用促進指針」を踏まえ、積極的にオンライン化を推進します。
- ・マイナンバーカードの利活用を進めるための取組を積極的に行い、行政手続のオンライン化を推進するとともに、住民にやさしい窓口を実現します。

基本方針 2 行政業務の効率化・高度化

- ・自治体の情報システムの標準化・共通化の取組については、セキュリティ対策の徹底を図りながら、国が定める標準化基準に適合したシステムを導入し、役場業務のデジタル化を進めることにより業務の効率化・高度化を図ります。

基本方針 3 安心・安全な地域づくり

- ・子育て支援、高齢者や障がい者支援、学校教育や生涯学習への支援、防犯・防災対策、産業の活性化、生活基盤の充実、そして行政運営全般において新たな情報化対応を進めることにより、住民が安全に、安心して暮らせるまちづくりを推進します。

DXとは、デジタルトランスフォーメーションの略です。デジタル化によって、より良い社会を目指すことを意味しています。

デジタル技術で生活が便利に



申請書作成サービス

京丹波町役場、各支所の窓口にて、戸籍、住民票、印鑑登録証明書など、申請書の一部を書かずに作成することができるシステムを導入します。

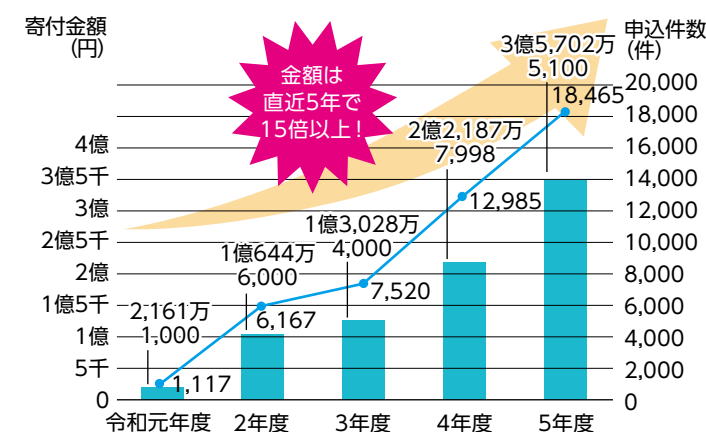
多言語通訳サービス

話した言葉が、即座に外国語に自動で翻訳されて表示されるシステムを京丹波町役場、各支所に導入します。32カ国語に対応しており、日本語表示も可能であるため、音声筆談などにも利用できます。



ふるさと納税の推進

ふるさと納税寄付額・件数の推移



京丹波町では、個人の方、企業の皆さんから、ふるさと納税で寄付をいただいております。

京丹波町プロモーション戦略によって、まちのPRを積極的に進めており、令和5年度には、京丹波町のふるさと納税額が3億円を超えました。

寄付者への返礼品として、京丹波くりや丹波牛、丹波黒大豆など町の逸品を感謝の気持ちを込めてお届けしています。企業版ふるさと納税では、寄付金で、施設の整備などを行い、町の活性化へつなげるために活用しています。

京丹波町プロモーション戦略策定

～ 京丹波は「まち」の枠を超え、「想いでつながるコミュニティ」へ～

京丹波町は、雄大な自然と豊富な食材に恵まれた魅力あるまちです。

しかしながら、少子高齢化の影響で、町から人が少なくなり、地域経済が縮小しつつある現状にあります。町を活性化するためには、京丹波町の持つ資源やあらゆる可能性を活かした、観光や移住の促進、産業の活性化などについてもっと真剣に考え、行動していく必要があります。

住み続けられる京丹波町であるために、「プロモーション戦略」を策定しました。

京丹波町では、この戦略を軸に、まちの魅力を高め、確立し、その魅力を町内外に積極的に発信します。

プロモーション戦略では、京丹波町が誇る大切にしたい5つの価値（5VALUES）を明らかにして、その価値を高める取組を進めます。

京丹波町が誇る5つの価値（5VALUES）

①自然との共生 Live with Nature

京丹波町は、豊かな自然環境と調和しながら、地元の生産物や伝統的な技術を活かし、持続可能で緑豊かな未来を築いています。恵まれた地域資源を最大限に利用し、地域の発展を図っている素晴らしさがあります。

②ウェルビーイング Well-being

心身の健康を重視し、美しい自然や伝統的な生活様式を通じて、ウェルビーイング（個人や社会のよりよい状態）を追求する人々がいます。京丹波町には、心地よい生活をサポートし、人々の幸福を重視している素晴らしさがあります。

③人と地域のつながり Community & Connection

京丹波町では、互いの絆や協力の精神を大切にし、積極的な関与を通じて、つながりのあるコミュニティを築いています。相互理解と協力に基づき、より強固な地域社会を形成しているという素晴らしさがあります。

④オープンマインド Open mind

京丹波町では、新しい人々やアイデアを歓迎し、積極的にコミュニケーションを図ることで、コミュニティの活性化を推進しています。開かれた心（オープンマインド）で、多様性を尊重し、共に学び成長していくという素晴らしさがあります。

⑤チャレンジング Challenging

京丹波町は、挑戦することの価値を理解し、新しい取組やアイデアに開かれています。夢を追いかける全ての人々を支援し、創造性と革新性を奨励している素晴らしさがあります。

京丹波町が誇る素晴らしい5つの価値を
伝え、町を活性化していくために、
京丹波町の新たなロゴを作成しました。



プロモーション戦略を進めるために、合言葉を定めました。

「GO! GREEN GREEN（ゴー！グリーングリーン）」です。明るい未来へ向けて、

「GO! GREEN GREEN（ゴー！グリーングリーン）」とみんなで、掛け声をかけます。

京丹波は「まち」の枠を超え、「想いでつながるコミュニティ」を目指します。



京丹波町プロモーション戦略策定

～ 京丹波は「まち」の枠を超え、「想いでつながるコミュニティ」へ～

「GO！GREEN GREEN（ゴー！グリーングリーン）」の掛け声で動き出す京丹波町プロモーション戦略では、3つの事業を展開します。それは、「京丹波イノベーションラボ」、「FROM京丹波」、「CLUB京丹波」です。町内、町外を3つの事業で相互につなぎ、活力ある京丹波町へ向けて、取組を進めます。

京丹波イノベーションラボ（内⇄内）



京丹波町のよりよいまちづくりへ向けて、町民の皆さんと役場職員、デザイナーが集まり、意見を出し合う官民連携組織です。

京丹波町の魅力を伝えるためのイベントや企画立案、運営を担います。

グリーングリーンマーケットなど、数々のイベントを開催し、まちの枠を超えて、想いでつながるコミュニティの醸成へ向けて活動を続けています。

FROM京丹波（内⇒外）



京丹波町から発信されたモノ（生産物、加工品、プロダクト、原材料）とコト（催事、イベント、行事、芸能）を一つのブランド（FROM京丹波）に集約することで、京丹波町のイメージを醸成する取組です。

京丹波の特産品や加工品に、同一のラベルをつけて、流通させることによって、「京丹波」の名前を広く一般に浸透させる狙いがあります。



CLUB京丹波（外⇄外）



京丹波ファンクラブ事業で、京丹波町の魅力ある情報を発信し、「京丹波のファン」と末永く交流の持てる関係性を構築し、まちの魅力を多方面に発信してもらう取組です。

京丹波町が展開する各種事業の参加状況などを見える化し、「関係人口プラットフォーム」として、機能させることも目指しています。

京丹波町プロモーション戦略策定

～デザイン思考でまちの活性化へ～

京丹波町プロモーション戦略の策定に携わる㈱ライトデザインの小川さんに聞きます。

◆デザイン思考とは

デザイナーがものを作るときに使用する思考のことですが、最近では自治体の仕事、ビジネスの場で使用されています。

なにか物を作ったとき、こうすればよかったなど、学びがある。次の作品にその学びを活かしながら、モノが良くなっていくというプロセスが大切です。イノベーションラボでは、デザイン思考を取り入れて、さまざまなイベントの企画立案などを行っています。



◆京丹波町の価値、5VALUESについて

京丹波町が誇る素晴らしい5つの価値の中で、チャレンジングが、とても大切な京丹波町の最大の価値ではないかと思います。

京丹波町では、起業している方も多いと聞きます。大規模なイベントでも、みんなと協力して、とりあえずやってみようとしてくれる人も多いです。そういった京丹波町の良さを5バリューの一つとしてうまく表現できたと思っています。

◆京丹波町の活性化へ向けて

京丹波町にもっと人が来るきっかけを作りたいです。京丹波町に魅力を感じた人が滞在したりものを食べたりするきっかけを作りたいです。京丹波町の魅力を集約し、浸透させ、拡散するという仕事に、やりがいを感じています。

様々な人々に参加してもらい、新しい化学反応を生み出していきたいです。



経済産業省から石川県庁へ出向中の京丹波町政策アドバイザーに就任する佐藤さんに聞きます。

◆京丹波町の魅力について

京丹波には、豊かな自然の恵みや健康的な暮らしなど、都会にはない多くの魅力があります。それに加えて、明るく前向きで、新しいものにチャレンジする空気も感じます。

外の人には、ぜひ観光にとどまらず、京丹波の方々と話したり、日常の雰囲気を感じたりしてもらいたいです。京都と丹波の良さが合わさって、滋養に満ちたような過ごしやすさを感じられると思います。

◆GREEN GREENについて

京丹波に来ればその良さがわかりますが、外の人にも伝えていくには分かりやすさが必要です。町の若手の活発な議論に、ライトデザインの小川さんたちの表現力が組み合わさって、「GREEN GREEN」という言葉にたどり着きました。グリーンで表現された京丹波の一つ一つの魅力がこだまのように重なるイメージに加え、楽しい印象もあります。

「GREEN GREEN」を通じて、町の方々にも京丹波の良さについて改めて腑に落ちることで、皆で地域の価値を高めていくことにもつながっていくと思います。

◆関係人口が活性化へのカギ

地方は人口減少と少子高齢化に悩まされていますが、都会でも過密からさまざまな課題が生じています。家族や仕事などの理由で都会に住むことを選ぶ人は多いですが、「都会の良さと地方の良さを組み合わせる生きられたら良いのに」という気持ちはほとんどの人の本心でしょう。

テレワークや二拠点居住など時代は少しずつ追いついてきており、一過性の観光と移住定住の間にある大きな関係人口を捉えることが重要です。京丹波のこれからを、関係人口も巻き込んで大きく描く、それがGREEN GREENの取組です。

町政懇談会を開催します

今年度の町政懇談会は、畠中源一町長が町民の皆さんの地域へお伺いし、町政の推進についてお伝えします。ぜひご参加ください。

時間はいずれの会場も、午後7時30分～午後9時の間で実施します。

地区	会 場	日 付	対 象 地 区
瑞穂地区	山村開発センターみずほ	6月26日(水)	中台、橋爪、和田、井脇、大朴、井尻、八田、小野、長谷
	梅田振興センター	6月28日(金)	坂井、水原、上大久保、下大久保、鎌谷下、鎌谷中、鎌谷奥、東又
	三ノ宮基幹集落センター	7月1日(月)	保井谷、栗野、妙楽寺、水呑、三ノ宮、質志、戸津川、猪鼻
	質美振興センター	7月4日(木)	行佛、中村、庄ノ路、質美和田、上野、下村、北久保
和知地区	大倉文化センター	7月8日(月)	中山、升谷、市場、大倉、篠原、大迫、長瀬、塩谷、上乙見、下乙見
	細谷共同集会所	7月10日(水)	西河内、下栗野、細谷、上栗野、仏主
	和知ふれあいセンター	7月12日(金)	本庄、坂原、中、角、広瀬、安栖里、小畑
	広野公民館	7月17日(水)	才原、大簾、広野、出野、稲次
丹波地区	京丹波町役場	7月18日(木)	須知、市森、上野、蒲生、蒲生野、曾根、院内、幸野、森、塩田谷、安井
	豊田区集会所	7月22日(月)	富田、豊田、上豊田、実勢
	下山集会所	7月23日(火)	下山、グリーンハイツ
	竹野地区基幹集落センター	7月30日(火)	笹尾、中畑、辻村、中村、下村、鎌倉、西階、水戸、新水戸

ふれあい懇談会の開催

畠中町長が、地域の団体やサークルなど、地域活動をされているところへ出向いて対話を行う、「ふれあい懇談会」も随時行います。お気軽にご連絡ください。

町政懇談会説明 VTR

<https://www.town.kyotamba.kyoto.jp/kakukakarasagasu/kikakujoyouhouka/gyomuannai/4/1/1/7988.html>



アンケートにお答えください

<https://www.shinsei.elg-front.jp/kyoto2/uketsuke/form.do?id=1716341203438>



【発行】京丹波町 【企画・編集】企画情報課 TEL0771-88-5000

【電子メール】koho.11ch@town.kyotamba.lg.jp 【ホームページ】<https://www.town.kyotamba.kyoto.jp>